

## 事務事業点検で活用した補助金事業に対する成果指標の事例

第3回会議では、平成23年度から平成25年度にかけて実施した事務事業点検（外部評価）で使用したシートについて、参考事例の一つという位置付けで資料13として配布したが、審議の中では、各補助金事業の成果目標と目標達成状況を過去の推移を含めて把握することは、評価に当たって有効ではないかとの意見をいただいた。

そこで、他の補助金事業に対しても適切な成果指標を設定するための議論のたたき台として、事務事業点検の対象事業となった幾つかの補助金事業の指標を示す。

### 1 公会堂設置費等補助金

事業概要	公会堂を所有または新設しようとする自治会・町会に対し、公会堂の新設や改修、補修等に要する経費の一部を助成
成果目標	自治会等が所有し活用する公会堂を、良好で安全な状態に保つこと 活動拠点である公会堂の維持を通じて、自治会の加入者を増やすこと
成果指標	公会堂設置数、自治会加入者世帯数

### 2 商店街共同施設電気料補助金

事業概要	商店会等に対し、管理する装飾街路灯・アーチ等の電気料の一部を助成
成果目標	商店街で街路灯を点灯することで、夜でも明るく、安全に商店街へ買い物に行くことができる環境を整え、商店街の活性化を図ること
成果指標	府中市内売場面積、府中市内年間商品販売額

### 3 観光事業費補助金

事業概要	府中観光協会に対し、観光パンフレットの作成等の観光情報提供事業や、写真コンクール・特産品開発等の観光振興事業に要する経費の一部を助成
成果目標	多くの方に府中市を訪れてもらうこと 来訪者の消費を喚起することで、市内商業等の活性化を図ること
成果指標	観光情報センター来館者数、観光協会推奨品数

### 4 コミュニティバス運行事業費補助金

事業概要	京王バス中央株式会社に対し、コミュニティバスの運行等に必要な経費の一部を助成
成果目標	平成29年度までに乗客者数を200万人に拡大すること 事業の運営経費に占める市からの補助金の割合を20%台とすること
成果指標	乗客者数

事業シート（概要説明書）

予算事業名	補助金 公会堂設置費等		事業開始年度	昭和32年度						
上位施策事業名	地域コミュニティの活性化支援		担当部名	市民生活部						
根拠法令等	府中市補助金等交付規則、府中市公会堂整備事業補助金交付要綱		担当課・係名	市民活動支援課 地域コミュニティ係						
事務区分	■自治事務 □法定受託事務		作成責任者	中川 健介						
実施の背景	公会堂とは、自治会が地域コミュニティ活動を行ううえで必要な集会施設として、独自に設置したもので、現在、市が把握している公会堂（集会所、自治会館等含む）は148施設ある。地域住民が安全で使いやすい近所の公会堂を利用することで、地域コミュニティが活性化されることを期待している。									
目的 (何をどうしたいのか)	自治会が所有している公会堂の維持管理に対し、市が一部補助することにより、地域コミュニティの拠点施設である公会堂を良好で安全な状態に保つことに対して寄与している。									
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	公会堂を所有する、または新設しようとする市内の自治会・町会が対象である。		対象者数（H24.4.1人口に対する割合） 73,032 世帯（61.8%）						
	実施方法	□直接実施								
		□業務委託 又は □指定管理（委託先又は指定管理者：）								
		■補助金〔直接〕間接（補助先：自治会等 実施主体：）								
		□貸付（貸付先：） □その他（）								
事業内容 (手段、手法など)	申請に基づき、次のとおり助成しています。 1 新設助成：事業費の2/3（1万円未満切捨て）助成。補助金限度額900万円。公会堂の新築または現在ある公会堂を取り壊し、新たな公会堂を建築する場合の助成。 2 改修助成：事業費の2/3（1万円未満切捨て）助成。補助金限度額300万円。公会堂の改修工事を行う場合の助成。 3 補修助成：事業費の2/3（1万円未満切捨て）助成。補助金限度額150万円。公会堂の軽微な補修工事を行う場合の助成。 4 敷地助成：当該土地（敷地面積165平方メートルを限度とする。）に係る固定資産税及び都市計画税の1.5倍に相当する額の範囲内で市長が定める額を助成。									
関連事業 (同一目的事業等)	なし									
コスト	24年度（予算）		23年度（決算）		22年度（決算）		21年度（決算）			
	事業費合計	14,880千円		12,836千円		15,696千円		7,994千円		
	事業費内訳 (平成23年度分)	1 新設助成	0件 0円		0件 0円		0件 0円		0件 0円	
		2 改修助成	2件 4,100,000円		2件 4,100,000円		2件 4,100,000円		2件 4,100,000円	
		3 補修助成	8件 4,820,000円		8件 4,820,000円		8件 4,820,000円		8件 4,820,000円	
4 敷地助成		10件 3,916,838円		10件 3,916,838円		10件 3,916,838円		10件 3,916,838円		
人件費	担当正職員	0.05人	405千円	0.05人	974千円	0.04人	362千円	0.15人	1,403千円	
	嘱託職員	0人	0千円	0人	0千円	0人	0千円	0人	0千円	
	臨時職員等	0人	0千円	0人	0千円	0人	0千円	0人	0千円	
	人件費合計	0.05人	405千円	0.05人	974千円	0.04人	362千円	0.15人	1,403千円	
総事業費	15,690千円		14,784千円		16,420千円		10,800千円			
財源内訳	国都支出金	0千円		0千円		0千円		0千円		
	国都支出金の内容									
	地方債	0千円		0千円		0千円		0千円		
	その他特財	0千円		0千円		0千円		0千円		
	その他特財の内容									
	一般財源	15,690千円		14,784千円		16,420千円		10,800千円		
財源合計	15,690千円		14,784千円		16,420千円		10,800千円			

## 事業シート（概要説明書）

予算事業名		補助金 公会堂設置費等			事業開始年度		昭和32年度	
事業実績	活動実績	【活動指標名】			単位	H23年度	H22年度	H21年度
		補修助成件数			件	8	9	10
		改修助成件数			件	2	3	0
	敷地助成件数			件	10	10	10	
単位当たりコスト	助成実績額	/	予算額	%	80.23	72.67	37.01	
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	本補助事業については、自治会等が所有・運営する公会堂を、良好で安全な状態に保つことを事業の目標としているため、各年度で自治会などからの施設改修での補助依頼にはすべて対応しており、事業の目標は毎年度達成しているものと考えている。 別の視点として、公会堂は自治会の活動拠点の維持でもあることから、自治会の加入状況を参考の成果指標として記載した。						
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】			単位	H23年度	H22年度	H21年度
		助成件数／申請件数			%	100	100	100
		公会堂設置数（市民活動支援課把握分）			施設	148	148	148
自治会加入者世帯数			世帯	73,167	73,424	73,091		
事業の自己評価 (今後の事業の方向性、課題等)	自治会等が公会堂を所有し、運営することは、地域や住民の自主性と地域コミュニティの拠点施設として大変重要である。しかし、公会堂は使用目的が主に地域活動であるため、使用料を無料または安価に設定しているところが多い。さらに、運営団体の自治会は営利活動等をする団体ではないことから、自治会が単独で施設を良好な状態で維持管理していくことは難しい。そのため、市が公会堂の維持管理に一部助成をすることで、自治会は公会堂を良好な状態に保つことができ、住民によるコミュニティ活動が安全な施設で行うことが出来ている。また、公会堂では市の福祉事業なども多く使用されており、地域の高齢者から、より身近な施設として利用されている。 課題としては、補助制度の性質上、その補助が適正なものであるかの検討は継続的に行っていく必要があると考えている。							
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)	他市の制度は別紙のとおり。							
特記事項	補助内容（補助率、限度額など）の見直し推移は別紙のとおり。							



事業シート（概要説明書）

予算事業名		商店街補助事業（補助金 商店街共同施設電気料）			事業開始年度	昭和48年度		
事業実績	活動実績	【活動指標名】			単位	H23年度	H22年度	H21年度
		装飾街路灯補助商店会数			商店会	41	42	43
		アーチ・アーケード補助商店会数			商店会	25	25	26
	単位当たりコスト	総事業費	/	装飾街路灯+アーチ・アーケード補助商店会数	円	318	321	304
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	商店街で街路灯を点灯することで、夜でも明るく、安全に商店街へ買い物に行くことができ、もって商店街の活性化に寄与する。						
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】			単位	H19年度	H14年度	H9年度
		府中市内売場面積			m <sup>2</sup>	219,175	192,505	171,883
		府中市内年間商品販売額			百万円	229,797	221,016	214,475
事業の自己評価 (今後の事業の方向性、課題等)	<p>街路灯が防犯灯を兼ねていることから、商店会では街路灯を安易に消すことができない。また、防犯灯については、市が維持管理にかかる経費を支出している。</p> <p>装飾街路灯は防犯灯の役割りも兼ねていることから、商店会に対し電気量などの経費を補助をしているが、東日本大震災以降、原油価格の高騰により燃料費調整額の値上がりが見られ、さらなる高騰の見込みがあることから、今後も、維持管理経費が増えるとなると、維持も困難であると思われる。</p> <p>装飾は賑わいの演出にもなっているので、可能な限り補助をし、商店会の支援を行いたい。</p>							
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)	<p>平成24年度予算額</p> <p>26市では、西東京市と羽村市以外で実施している。</p> <p>調布市7,400千円(29商店会)、小金井市4,169千円(15商店会)、国分寺市2,656千円(15商店会)、国立市6,970千円(23商店会)、日野市1,950千円(9商店会)、稲城市 550千円(2商店会)、多摩市 686千円(3商店会)</p>							
特記事項	<p>※商店街の街路灯には防犯の役割りもあることからの参考数値です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通事故発生状況…H23 831件、H22 832件、H21 982件</li> <li>・刑法犯発生件数… H23 2,712件、H22 2,873件、H21 2,791件</li> </ul>							

事業シート（概要説明書）

予算事業名	補助金 観光事業費	事業開始年度	昭和52年																																																		
上位施策事業名	観光資源の活用・創出による地域活性化	担当部名	生活環境部																																																		
根拠法令等	府中市観光事業補助金交付要綱	担当課・係名	経済観光課																																																		
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	作成責任者	加藤 康生																																																		
実施の背景	にぎわいと魅力あふれるまちづくりを推進していくためには、観光資源そのものの整備拡充による魅力の創出を行い、効果的な情報発信により本市の観光資源の魅力を広くPRするとともに、観光客受入態勢の整備を図っていくことが必要である。観光協会は昭和36年に府中市の観光事業を推進するために市が設立し、平成18年度にNPO法人化した。																																																				
目的 (何をどうしたいのか)	観光事業に対し、その事業費の一部を補助することで、市の観光資源に関するPRを充実させるとともに、観光客の誘致と訪れる観光客の利便性を向上させることで、にぎわいのあるまちづくりを推進し、地域の活性化を図っていくことを目的とする。																																																				
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	市民及び観光客 ※観光客数は、総数の把握を行っていないため対象者数と割合は未記入とします。	対象者数 (H25.4.1人口に対する割合) — 人 ( — % )																																																		
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者: ) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金〔直接・間接〕 (補助先: 府中観光協会 実施主体: 府中観光協会) <input type="checkbox"/> 貸付 (貸付先: ) <input type="checkbox"/> その他 ( )																																																			
	事業内容 (手段、手法など)	1 観光パンフレットの発行 4種類 (府中駅散策マップ・郷土の森散策マップ・太鼓巡行マップ・府中太鼓判&府中みどころマップ) 2 観光協会のホームページの運営・充実 更新の頻度: 月に5回程度新しいお知らせを掲載 3 写真コンクールの開催 題名: わがまち自慢写真コンクール 場所: グリーンプラザ分館 4 節分祭等・観光事業への協賛 5 特産品の開発・PR事業 6 観光ガイドの養成とガイドツアーの実施 ガイド23名、ガイドツアー12件、リクエストツアー30件、ミニツアー、毎週木曜及び第1土曜日実施 (平成24年度実績)																																																			
	関連事業 (同一目的事業等)	観光振興事業、観光情報センター管理運営費、郷土の森観光情報センター管理運営費、例大祭観光事業費補助金																																																			
	コスト	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>25年度 (予算)</th> <th>24年度 (決算)</th> <th>23年度 (決算)</th> <th>22年度 (決算)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費合計</td> <td>12,842千円</td> <td>13,829千円</td> <td>19,733千円</td> <td>9,161千円</td> </tr> <tr> <td>事業費内訳 (平成24年度分)</td> <td colspan="4">                     観光情報提供事業 105千円                      観光振興事業 13,379千円                      啓発・協賛事業 345千円                      合計 13,829千円                      ※内訳は別紙参照                 </td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td colspan="4"> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>25年度 (予算)</th> <th>24年度 (決算)</th> <th>23年度 (決算)</th> <th>22年度 (決算)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>担当正職員</td> <td>0.50人 3,990千円</td> <td>0.70人 5,586千円</td> <td>0.30人 2,435千円</td> <td>0.65人 5,682千円</td> </tr> <tr> <td>嘱託職員</td> <td>人 千円</td> <td>人 千円</td> <td>人 千円</td> <td>人 千円</td> </tr> <tr> <td>臨時職員等</td> <td>人 千円</td> <td>人 千円</td> <td>人 千円</td> <td>人 千円</td> </tr> <tr> <td>人件費合計</td> <td>0.50人 3,990千円</td> <td>0.70人 5,586千円</td> <td>0.30人 2,435千円</td> <td>0.65人 5,682千円</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td>16,832千円</td> <td>19,415千円</td> <td>19,733千円</td> <td>9,396千円</td> </tr> </tbody> </table> </td> </tr> </tbody> </table>				25年度 (予算)	24年度 (決算)	23年度 (決算)	22年度 (決算)	事業費合計	12,842千円	13,829千円	19,733千円	9,161千円	事業費内訳 (平成24年度分)	観光情報提供事業 105千円 観光振興事業 13,379千円 啓発・協賛事業 345千円 合計 13,829千円 ※内訳は別紙参照				人件費	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>25年度 (予算)</th> <th>24年度 (決算)</th> <th>23年度 (決算)</th> <th>22年度 (決算)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>担当正職員</td> <td>0.50人 3,990千円</td> <td>0.70人 5,586千円</td> <td>0.30人 2,435千円</td> <td>0.65人 5,682千円</td> </tr> <tr> <td>嘱託職員</td> <td>人 千円</td> <td>人 千円</td> <td>人 千円</td> <td>人 千円</td> </tr> <tr> <td>臨時職員等</td> <td>人 千円</td> <td>人 千円</td> <td>人 千円</td> <td>人 千円</td> </tr> <tr> <td>人件費合計</td> <td>0.50人 3,990千円</td> <td>0.70人 5,586千円</td> <td>0.30人 2,435千円</td> <td>0.65人 5,682千円</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td>16,832千円</td> <td>19,415千円</td> <td>19,733千円</td> <td>9,396千円</td> </tr> </tbody> </table>					25年度 (予算)	24年度 (決算)	23年度 (決算)	22年度 (決算)	担当正職員	0.50人 3,990千円	0.70人 5,586千円	0.30人 2,435千円	0.65人 5,682千円	嘱託職員	人 千円	人 千円	人 千円	人 千円	臨時職員等	人 千円	人 千円	人 千円	人 千円	人件費合計	0.50人 3,990千円	0.70人 5,586千円	0.30人 2,435千円	0.65人 5,682千円	総事業費	16,832千円	19,415千円	19,733千円
	25年度 (予算)	24年度 (決算)	23年度 (決算)	22年度 (決算)																																																	
事業費合計	12,842千円	13,829千円	19,733千円	9,161千円																																																	
事業費内訳 (平成24年度分)	観光情報提供事業 105千円 観光振興事業 13,379千円 啓発・協賛事業 345千円 合計 13,829千円 ※内訳は別紙参照																																																				
人件費	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>25年度 (予算)</th> <th>24年度 (決算)</th> <th>23年度 (決算)</th> <th>22年度 (決算)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>担当正職員</td> <td>0.50人 3,990千円</td> <td>0.70人 5,586千円</td> <td>0.30人 2,435千円</td> <td>0.65人 5,682千円</td> </tr> <tr> <td>嘱託職員</td> <td>人 千円</td> <td>人 千円</td> <td>人 千円</td> <td>人 千円</td> </tr> <tr> <td>臨時職員等</td> <td>人 千円</td> <td>人 千円</td> <td>人 千円</td> <td>人 千円</td> </tr> <tr> <td>人件費合計</td> <td>0.50人 3,990千円</td> <td>0.70人 5,586千円</td> <td>0.30人 2,435千円</td> <td>0.65人 5,682千円</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td>16,832千円</td> <td>19,415千円</td> <td>19,733千円</td> <td>9,396千円</td> </tr> </tbody> </table>					25年度 (予算)	24年度 (決算)	23年度 (決算)	22年度 (決算)	担当正職員	0.50人 3,990千円	0.70人 5,586千円	0.30人 2,435千円	0.65人 5,682千円	嘱託職員	人 千円	人 千円	人 千円	人 千円	臨時職員等	人 千円	人 千円	人 千円	人 千円	人件費合計	0.50人 3,990千円	0.70人 5,586千円	0.30人 2,435千円	0.65人 5,682千円	総事業費	16,832千円	19,415千円	19,733千円	9,396千円																			
	25年度 (予算)	24年度 (決算)	23年度 (決算)	22年度 (決算)																																																	
担当正職員	0.50人 3,990千円	0.70人 5,586千円	0.30人 2,435千円	0.65人 5,682千円																																																	
嘱託職員	人 千円	人 千円	人 千円	人 千円																																																	
臨時職員等	人 千円	人 千円	人 千円	人 千円																																																	
人件費合計	0.50人 3,990千円	0.70人 5,586千円	0.30人 2,435千円	0.65人 5,682千円																																																	
総事業費	16,832千円	19,415千円	19,733千円	9,396千円																																																	
財源内訳	国都支出金	0千円	0千円	0千円	0千円																																																
	国都支出金の内容																																																				
	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円																																																
	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円																																																
	その他特財の内容																																																				
一般財源	16,832千円	19,415千円	19,733千円	9,396千円																																																	
財源合計	16,832千円	19,415千円	19,733千円	9,396千円																																																	

事業シート（概要説明書）

予算事業名		補助金 観光事業費			事業開始年度	昭和52年		
事業実績	活動実績	【活動指標名】			単位	H24年度	H23年度	H22年度
		観光ガイドツアー参加者数			人	1,251	672	966
		写真コンクール作品展来場者数			人	525	492	615
	協賛した観光事業数			件	13	10	14	
単位当たりコスト	総事業費	/	主なイベントに参加した観光客数	円	7	16	5	
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	観光協会の事務局が置かれている観光情報センターの来館者数については、大國魂神社の隣にあるという立地から、観光に立ち寄りやすい位置にあること、また、観光ガイドツアーの出発点になることが多いことから、府中の観光における一つの指標となるため。府中の全体での観光客数については、正確にカウントした公式の数値がないことから、市内の主要な観光資源とイベントの観光客数の数値を成果指標として設定した。観光事業の目的の一つは、多くの方に府中市を訪れてもらい、消費を喚起することで、市内商業等の活性化を図ることにある。そこで、お土産品として紹介している、観光協会推奨品を成果指標として設定した。						
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】			単位	H24年度	H23年度	H22年度
		主要な資源・イベント 観光客数（別紙参照）			人	1,984,490	1,223,936	1,909,204
		観光情報センター来館者数			人	23,463	21,329	26,527
観光協会推奨品数（別紙参照）			種	34	30	25		
事業の自己評価 (今後の事業の方向性、課題等)	<p>これまで、本市を訪れる観光客の利便性の向上を図るため、観光のガイドマップを作成し、また、観光情報センターでの情報提供や観光協会のHPでの情報提供を行う等、事業の目的に沿った成果をあげている。また、観光ガイドツアーについては、申込者・参加者がともに増加しており、リピーターになるファンも多くなっている。今年度は、ツアーのコースも増やし新たな観光資源の開拓に力を入れている。観光のパンフレットについても、今年度は国分寺市との連携を行い、両者の観光資源を周遊できるようなものを作成する予定である。また、今後も他市町村等とも連携し、市という枠組みを超えて観光客の誘客に努めたい。</p> <p>課題としては、観光協会の推奨品が多数あるが、「府中といえばこれ」と突出して知名度の高いものが現状としては無く、目玉となる特産品の開発が望まれる。</p>							
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)	別紙調査結果一覧参照							
特記事項	無し							

事業番号2-20

事業シート（概要説明書）

予算事業名	コミュニティバス運行補助事業		事業開始年度	平成15年度													
上位施策事業名	公共交通の利便性の向上		担当部 名	生活環境部													
根拠法令等	府中市コミュニティバス運行事業補助金交付要綱		担当課・係名	地域安全対策課施設管理係													
事務区分	■自治事務 □法定受託事務		作成責任者	市川直次													
実施の背景	これまで主に、市内主要駅から近隣市の主要駅を結ぶ路線を中心に京王バスと小田急バスが市内を運行し、平成13年度当時、約20路線あった。民間事業者であることから、非採算路線は廃止や見直しが見られ、住宅地域の中には鉄道各駅から1km圏外である交通不便地域も発生した。その解消や、高齢者や障害者の交通弱者の外出支援策として、コミュニティバスの導入についてコミュニティバス導入調査検討協議会（平成13年6月20日発足）を設置し、協議結果に基づき市が導入した。																
目的 (何をどうしたいのか)	市内の公共施設への接続、高齢者や障害者の社会参加の促進するとともに交通不便地域（鉄道駅から半径1kmまたはバス停留所から半径300m圏外の地域）解消により、市民生活の利便を図る。																
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	補助対象は、事業者であるが交通弱者、交通不便地域の数値は有していないため、利用者である全市民を対象とする。 ※利用者は市民に制限しないため、市外の方も利用できる。		対象者数 (H25.4.1人口に対する割合) 252,004 人 ( 100 % )													
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者: ) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金〔直接・間接〕 (補助先: 京王バス中央株式会社 実施主体: 京王バス中央株式会社 ) <input type="checkbox"/> 貸付 (貸付先: ) <input type="checkbox"/> その他 ( )															
	事業内容 (手段、手法など)	京王バス中央株式会社が行うコミュニティバス運行事業に対し、市が運行に必要な経費や停留所の設置にかかる経費について補助金を交付している。また、運行会社については、地域の交通事情に精通し、車両管理機能を備えた施設を市内に有していることを優先した。 <b>【補助対象経費】</b> ・運行（5路線7ルート）に係る経費・・・人件費、燃料油脂費、車両修繕費、車両原価償却費、自動車税、自動車重量税、自賠責保険料、一般管理費等から運送収入と広告料収入を引いた分を事業者へ補助（欠損分を全額負担）。 ・停留所標識設置経費・・・バス停本体、設置工事、植栽等切開き等については全額補助。 <b>【運行内容】</b> ・運行日 毎日。おおむね午前8時～午後7時の間に30分に1本の割合で運行 ・運賃 1乗車100円（未就学児の利用は無料）。乗継券で同一路線内の別ルートへの乗継ができます。															
	関連事業 (同一目的事業等)																
コスト		25年度（予算）		24年度（決算）		23年度（決算）		22年度（決算）									
	事業費合計	100,339千円		93,616千円		97,241千円		89,215千円									
	事業費内訳 (平成24年度分)	<b>【補助金】</b> 次の差額分を補助金として支払う（詳細は事業シート欄外） (補助対象経費) ・コミュニティバス運行事業費 283,637千円 ・停留所整備費 756千円 (収入額) ・利用料、広告掲載料 190,777千円															
	担当正職員	1.1	人	8,778	千円	1.1	人	8,778	千円	1.1	人	8,927	千円	0.9	人	7,867	千円
	嘱託職員		人		千円		人		千円		人		千円		人		千円
	臨時職員等		人		千円		人		千円		人		千円		人		千円
人件費合計	1.1	人	8,778	千円	1.1	人	8,778	千円	1.1	人	8,927	千円	0.9	人	7,867	千円	
総事業費	109,117千円		102,394千円		106,168千円		97,082千円										
財源内訳	国都支出金					0千円											
	国都支出金の内容																
	地方債					0千円											
	その他特財					0千円											
	その他特財の内容																
	一般財源	109,117千円		102,394千円		106,168千円		97,082千円									
財源合計	109,117千円		102,394千円		106,168千円		97,082千円										

事業番号2-20

事業シート（概要説明書）

予算事業名		コミュニティバス運行補助事業		事業開始年度	平成15年度		
事業実績	活動実績	【活動指標名】		単位	H24年度	H23年度	H22年度
		年間乗客者数		人	1,991,478	1,747,950	1,637,720
		運行路線		路線／ルート	5／7	5／7	5／7
	年間運行便数（1日当たり便数平成22年度及び23年11月まで152便、同年12月から174便）		便	63,510	58,316	55,480	
単位当たりコスト	総事業費	／	運行便数	千円	2	2	2
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	乗客者数の拡大、第6次府中市総合計画において、市からの補助金に頼らない事業運営を目指し、運営経費に占める補助金の割合を20%台とすることを目標に、平成29年度までに乗客者数を200万人にする目標を設定している。					
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】		単位	H24年度	H23年度	H22年度
		乗客者数		人	1,991,478	1,747,950	1,637,720
				人			
				人			
事業の自己評価 (今後の事業の方向性、課題等)	平成23年12月から押立町・朝日町循環において1時間当たりの運行本数をそれまでの1本から2本とする社会実験を行った後、平成24年4月から本格運行を行う。市民の日常の交通手段として定着しており、更なる利用が進むと思われる。引き続き、更なる利便性の向上や社会状況の変化に対応するため、運行改善の検討を行う。また、府中駅周辺の違法駐車の数も減少してきている【平成18年度、休日66台、平日81台（ともに1時間当たり）→平成24年度、休日23台、平日39台（ともに1時間当たり）】ことから、運行による一定の効果があったものと判断している。今後は利用者の構成について把握できる対応策を研究するように努める。						
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)	別添、資料のとおり						
特記事項	平成15年12月 府中市コミュニティバスちゅうバスが運行開始。平成20年3月 コミュニティバスちゅうバスに押立町・朝日町循環を新設。平成22年4月 コミュニティバスちゅうバス南町・四谷循環に四谷六丁目ルートの新設。平成24年4月 府中市コミュニティバスちゅうバス押立町・朝日町循環を30分間隔で本格運行を開始。平成24年4月 府中市コミュニティバスちゅうバス是政循環に中型車輛を投入し本格運行を開始。						

補助金(円) 93,616,547  
 コミュニティバス運行事業費(円)

内訳	金額	備考
運送費	283,636,962	
人件費	267,582,040	
燃料油脂費	184,847,670	乗務員54人の他、整備に係る人
車両修繕費	23,016,954	CNG充填量211,443Nm <sup>3</sup> 、軽油50,138ℓ、オイル461ℓ
車両原価償却費	21,768,600	1台当たり2982円×20台×365日
自動車税	33,989,000	20台
自動車重量税	301,000	20台
自賠責保険料	448,000	20台
その他経費	1,077,400	20台
一般管理費等	2,133,416	通信運搬・電波使用料、広告宣伝費等
	16,054,922	上記経費の6%

停留所整備費(円)

内訳	金額	備考
ガードパイプ撤去費	756,000	
植栽移植	231,368	3箇所
端数値引き	525,368	3箇所
	-735	

収入(円)

内訳	金額	備考
現金	190,776,415	
回数券	153,109,559	
広告	35,922,856	
	1,744,000	22件